



J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
http://nihonmatsu.jcho.go.jp
発行者:あゆみ編集委員会

第7回 二本松病院地域協議会を開催しました

平成29年7月6日(木)に、第7回二本松病院地域協議会を開催しました。

冒頭、六角院長より平成26年4月JCHO二本松病院としてスタートしてから、3年間無事に運営できた事に対して、関係各機関への謝辞と、今後の病院運営への更なるご協力をお願いし、その後、新任の安田総看護師長、渡邊副総看護師長の紹介がありました。

尚、今回は4名の委員の方々が入れ替わっています。引き続き大類事務長より、平成28年度事業報告並びに収支報告と、平成29年度の事業経過報告をさせて頂きました。

その後の質疑応答や意見交換の場では、主に以下のような項目が話し合われました。

①全体的に入院・外来患者数が若干減少傾向にあるのでは？

⇒今年1月以降常勤医師が2名退職されていることも、影響していると思われます。

②二本松市として、産後ケアについて人数増を考えていますが対応は？

⇒産後ケアについて周知されていないのが現状です。一方病院としての受入態勢については、まだ余力があり、これからも広報活動を続け二本松市は子育てしやすい地域であることを広げながら市の方と進めていきます。

⇒二本松市としても、スマートフォンのアプリ等が利用できないか検討中です。

③地域包括支援センターについて、病院への収益面での貢献度は低いですが、JCHO病院全体で考えて対応頂き、市としても大変心強く思っています。

⇒民生委員としても、地域包括を頼りにしています。これからも連携して老人介護等に取り組んでいきたいです。

最後に、柳沼副院長から「医師不足はもちろん、看護師、薬剤師及び管理栄養士等の有資格者についても集まらない状況で、現状は大変厳しいですが将来的には必ず、今の状況から脱却できると期待し頑張っていきたいと思いますので、今後ともご支援の程よろしく願います。」と閉会のあいさつで終了となりました。

経営企画係長 後藤 絹子



老健施設

老健施設で看護実習生を受け入れしました

7月3日～7月6日と7月18日～7月21日の間、衛生総合学院看護科の2年生在宅看護論実習を老健施設で行いました。

病院から療養の場への移行に伴う入所・退所支援及び、継続看護の必要性と施設における看護活動を学ぶという目的で行いました。准看護師の資格を取得している学生さんは、更に様々な知識を修得しつつ来年の春にむけて看護師の国家試験を目指す勉強も行いながらの実習でした。

介護保険法がスタートして17年、在宅看護論実習は看護師にとって大きな役割を担っています。国家試験にも地域包括支援センターの部分が多く出題されるとのことでした。老健施設での看護師の役割や多職種連携などを学び、将来老健施設で働きたいと感じてもらえたら嬉しいです。

老健施設 看護師 大場 亜由美



外来

中学生の職場体験学習を行いました

二本松第一中学校の職場体験学習が6月29日・30日の2日間にわたり行われました。

1日目は各部署を見学し、少し緊張感ではありましたが、真剣な表情で説明を聞きながら積極的に質問する姿が見られました。また、患者さんの気持ちを理解する為にエアーマットに臥床し体位変換をしたり、車椅子やストレッチャーでの移動体験を行い、「結構難しい。」「後ろ向きだとこわいです。」「患者さんの気持ちが分かりました。」などの感想も聞かれました。

2日目には入院中の患者さんの手浴を行い、患者さんと触れ合いながらコミュニケーションをとる事ができました。患者さんから「嬉しくて涙が出てきちゃった。ありがとう。一生の思い出になりました。」との言葉をいただき、学生さんからは「働いている人達の喜びが分かった。」「患者さんが喜んでいる姿を見て、素敵な仕事だと思った。」との感想が聞かれました。また、「医療職に就きたいと思った。」「助産師になりたい。」など将来の夢や目標の言葉も聞かれ、充実した職場体験学習となりました。

ご協力いただいた患者様や各部署の皆さんに御礼申し上げます。

外来看護師 日向 里香



老健施設

介護福祉士の実習生を受け入れしました

福島介護福祉専門学校の1年生2名が7月12日から19日まで実習に来ました。介護の見学、体験を通して施設利用者の生活について理解を深めるという内容で実習を行いました。利用者への配慮や、笑顔で親切に対応する職員の姿を見て、学校で学ぶ以上に自分が行うべき介護像が見えてきたとの感想も得ました。声掛けの難しさや介護技術の習得に向けて自分自身の課題も見いだせた実習だったようです。

常に笑顔を忘れず、利用者さんから信頼される介護福祉士になって、是非私たちと一緒に働きましょう。

老健施設 介護福祉士 渡辺 ゆき



二本松病院では地域の皆さまとの交流を大切に考え様々な活動を行っています。今後ともよろしくお願いたします。

老健施設

転倒予防教室を開催しました

リハビリでは、年2回転倒予防教室を開催しています。今回は第1回目を7月15日に開催しました。

内容としては『転倒リスク評価表』『太極拳ゆったり体操』の2つを行いました。

転倒リスク評価表を用いて、簡単な質問用紙に「はい」「いいえ」で回答し、自分が転倒しやすくなったということを確認していただきました。太極拳ゆったり体操は、太極拳の姿勢や動作等を取り入れてゆっくり行うのが特徴です。初めて体験する方が多く、「自宅でも継続したい」との声も聞かれ、笑い声のある賑やかな教室となりました。今後も継続して運動を行っていただき、転倒予防を図っていただくと幸いです。

次回は秋頃に開催予定です。リハビリスタッフがサポートしますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

理学療法士 内海 洋亮



夏祭り開催!!

二本松病院附属介護老人保健施設において今年も夏祭りを開催致しました。



普段とは違った場所(一階エントランスホール)へ移動し、スイカ割りや流しそうめんを行いました。余興では、千里会の皆様による「太鼓や三味線に合わせての歌」、本宮高校生による「よさこい踊り」、職員による踊り「おてもやん」が披露され、一緒に歌われる方や手を動かしてリズムを取られる方等、笑顔で楽しんでおられました。



ほんのひと時ではありましたが、「夏まつり」を感じていただけたかと思えます。

皆様、体に気を付けて暑い夏を乗り切りましょう。秋には敬老会を予定しております。

老健サービス向上委員会
佐藤 薫

栄養管理室では、患者さんに行事食を提供しています。

今月は、土用の丑の日の行事メニューを紹介いたします。



メニュー紹介

うな重・わかめの酢物・枝豆・福島県産【もも】・生麩とかぶのお吸い物

園児絵画展

子供たちの豊かな成長を願い、園児が元気に描いた絵画をお借りして病院の玄関ホールと外来ホールに6月19日から7月20日まで展示しました。絵画のテーマは「楽しかった思い出」の題で園児がそれぞれに描いてくれました。ちょうど七夕飾りと一緒になり待合ホールは美術館のようでした。診察待ちの患者さんや面会途中の方々が足を止めて園児の描いた絵を微笑みながら見ていました。

サービス向上委員会

編集後記

今年の夏は、大気の状態が不安定で、九州北部・秋田・佐渡島・県内の会津地方など、全国各地で局地的豪雨による大規模な被害があった一方、猛烈な暑さで熱中症の記事が毎日のように報道されていましたが、お盆も過ぎこれからは、涼しくなるのでしょうか？それとも、残暑が厳しいのでしょうか？みなさん、体調管理には十分に気を付けましょう。

H・M記